

大津市庁舎整備基本計画(案)に対するパブリックコメントでの意見内容と市の考え方

- 1 意見募集期間 令和7年6月13日(金)～同年7月7日(月)
 2 結果 意見提出 23人(72件)

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
1	1	第一章 はじめに 2.庁舎整備の必要性	1、『大規模な地震が発生した場合には、大きな被害が発生する恐れがある』とありますが、本庁・別館の耐震性が不足していることに関して、もう少し具体的に建物の予想被害状況を記載し、市民へ新庁舎の必要性和本庁・別館の現状をより知ってもらえるようにしてみたいかでしょうか。 例えば… 震度6強～7程度の地震が起こった場合に、本館は倒壊、又は崩壊する危険性が高く、別館はその危険性がある。 ※第147回都市計画審議会 【大津市庁舎整備に伴う大津湖南都市計画の変更について】より抜粋	ご意見を踏まえて、令和4年7月に実施した市民アンケートにて示していた内容に合わせて「大規模な地震(震度6強～7程度)が発生した場合には、大きな被害(倒壊又は崩壊)が発生する恐れがある」と文章を修正します。
2	1	4.現庁舎や現庁舎を解体場合の跡地等	第1章の4の4行目「現庁舎の本館及び別館については、耐震化、免震化を行わず解体することを基本とし」 現本館及び別館に歴史的価値があるのであれば、「解体することを基本」とするのではなく、保存して欲しい。「保存することを基本」として、提案を募集してはどうか。 現本館及び別館は大津市の昭和時代を代表する建築である。各時代の優れた建築が残っているのが文化を大事にする都市である。 現代の技術では、耐震補強や維持管理に費用がかかりすぎるのであれば、使用や立ち入りを制限して形態のみ保存し、技術の進歩を待てばよい。文化財を安易に破壊しては取り返しがつかない。	本計画(1ページ)に記載のとおり、現在の市役所庁舎(本館・別館)は佐藤武夫氏が設計を手掛けたものであり、2016年『日本におけるモダン・ムーブメントの建築197選(DOCOMOMO Japan)』に選定されています。一般社団法人日本建築学会から選定建物の歴史的価値の継承と保全について要望がありましたが、耐震工事や免震工事を行い市役所庁舎として使い続けることは、多額の費用を掛けるとも利便性が向上しないことから、令和4年の庁舎整備基本構想において、本館は耐震化、免震化を行わず、現在地以外への移転建替えとすることとしました。 本計画では、本館に加え別館についても、耐震化、免震化を行わず解体することを基本とすることとしています。 今後は、記憶や記録を継承していくための資料(アーカイブ)の作成などを検討します。
3	2	6. 皇子山総合運動公園のあり方検討	新庁舎が建つことで、ただでさえなかなか予約が取れないテニスコートがなくなるのは困る。 合同宿舎の場所に、少なくとも今と同じ4面、可能なら皇子が丘と同じ8面は確保してほしい。 テニスは色々なスポーツの中で一番寿命が長くなるスポーツでこれを広めることは非常に有効だと考える。 皇子山公園付近には多くのマンションも建ち、利用者も増加していると考えられる。 遊具などは、尾花川公園がマンションに近いのだから、そちらにある土のテニスコートも遊具を入れればよい。もしくは尾花川公園の駐車場にすればいいと考える。 ちなみに滋賀県の10歳以上のテニス年間行動者率は全国2位だそうです。それに対して滋賀県のテニスコート数は全国19位と多くありません。←滋賀県HPより どうぞよろしくお祈いします！	別所合同宿舎用地(国)で代替公園の整備を想定していますが、テニスコートの再整備の有無については現時点で判断していません。庁舎整備の進捗に合わせて代替公園の整備を含めた皇子山総合運動公園のあり方について別途検討します。その他公園に関するご意見については、今後の公園施策の参考とさせていただきます。
4	2	6. 皇子山総合運動公園のあり方検討	市庁舎の耐震性が不十分であり建替えが必要との考えに対しては理解するものであります。 その代替地として皇子山総合運動公園を選ばれたのもやむを得ないものと拝察します。 しかし公園内のテニスコートが完全になくなることに限っては非常に残念であります。 私は40年余りテニスを趣味として、また健康のため続けてまいりました。 当然ながら最寄りにあります皇子山のテニスコート、皇子が丘のテニスコート、尾花川のテニスコートなど抽選で獲得できた場所で毎週やっています。 もうすぐ後期高齢者になる私ですが、テニスができることが健康のバロメーターであり、仲間と集まってプレイすることがストレスの解消ともなっています。 そういったなか、今回コートがなくなるというのは非常に残念に感じています。 まともなコートは皇子が丘だけになり、更にコートの獲得が厳しくなりコートの絶対数が減ります。 また尾花川コートでは土のコートであり、雑草が生えたり、雨の後はぬかるんで地面がでこぼこになったりプレイに支障があります。 市は隣接の別所合同宿舎用地を国と交渉中と記載されていますが、是非とも代替地として取得していただき、コートを作ってくださいたくお願いするものであります。 市民の健康増進施策の一貫として是非実現をお願い申し上げます。	

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
5	9	大津愛を育む機能	<p>提案「クラウドファンディングを3年間実施」</p> <p>大津市庁舎を建て替え事業を利用して、大津市を日本全国に宣伝するチャンスと捉える。集まる募金は二の次でも良い。</p> <p>コンセプト:大津愛を育む 期間:市庁舎完成までの3年間 内容:中身は大津。記憶に残る体験。 発信:定点観測カメラで、24時間撮影配信</p> <p>手法提案①:3年間を半年間ずつ6クールに分ける。対象期間(クール)毎に抽選でプレゼントを渡す。 手法提案②:プレゼントは、大津にゆかりのあるもの。例:大津出身の作家の直筆サイン色紙。サイン中の写真付今なら、「成瀬」や「霸王の盾」の作者又は、メダリストやタレント。 手法提案③:大津市に全国から足を運んでもらう目的で期間限定で大津市内の企業に協力してもらう。 例:琵琶湖テラスのゴンドラ往復ペアチケット。坂本ケーブル比叡山根本中堂往復ペアチケット。 琵琶湖疏水船往復ペアチケット。京阪電車(石山坂本)一日乗車券(ペア)。ミシガンペアチケット。 瀬田川クルーズペアチケット。びわこ花火観覧席ペアチケット。 手法提案④:大津市の歴史に触れてもらう。 大津市内の社寺仏閣関係者に協力してもらう。 例:西教寺、延暦寺、三井寺、石山寺と大津市歴史博物館の拝観料や入館料ペアチケット。など 手法提案⑤:大津市のグルメなどを全国に宣伝。大津市内の企業に協力してもらう。 例:プリンスホテル最上階レストランのペアお食事券。雄琴温泉でのペアお食事券。叶匠寿生長生の郷ペアお食事券など。</p> <p>大津愛のある個人事業者様に協力してもらう。 頂いた貴重な篤い志を、クラウドファンディングに協力してくれた方々にお返しの意を込めて、抽選でお配りする。 大口出資者には、当選確率を増やす工夫も考える。(公表すべし)いわゆる「ふるさと納税」とは、別扱いとする。 コンテンツは、大津を体験してもらうこと。 目的は、大津を大々的に宣伝すること。</p>	市民に親しまれる庁舎整備に向けて、市民の機運醸成や大津愛を育む取組は重要で、クラウドファンディングは、その手法の1つであると考えられます。ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。
6	11	第2章基本方針 1.基本的な考え方	<p>原案:公園と一体となった新庁舎… 修正案:まちと公園と一体となった新庁舎… 理由:大津市の中心となり、まちづくりの象徴となり、市民のまちに対する愛着を醸成する新庁舎エリアを大津市の中心にふさわしい、人々が集まり集まりたくなる「まち」にすることが必要である</p>	本計画(12ページ)の基本コンセプト1.健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎に記載のとおり、新庁舎は、本市のまちづくりの象徴となり、市民のまちに対する愛着と誇りを醸成する役割を担うものとしています。このことから、原案のとおりとします。
7	11	2.基本計画の基本コンセプト①	<p>原案:まちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎 修正案:まちづくりの拠点となる、まちと公園と一体となった庁舎 理由:大津市の中心となり、まちづくりの象徴となり、市民のまちに対する愛着を醸成する新庁舎エリアを大津市の中心にふさわしい、人々が集まり集まりたくなる「まち」にすることが必要である</p>	
8	11	基本コンセプト①の基本方針	<p>基本方針に追加:(追加)ひとびとが集まり、憩い、楽しめるまちと一体となった庁舎 理由:庁舎建設に合わせて、公共交通拠点と新庁舎をつなぐまちの再開発をする</p>	本計画(18ページ)に記載のとおり、基本コンセプト3.にて市民が親しみやすく利用しやすい庁舎としています。このことから、原案のとおりとします。なお、庁舎整備に伴う再開発は検討していません。
9	11	2.基本計画のコンセプト	<p>・意見 基本コンセプトの「③市民が親しみやすく利用しやすい庁舎」が最も大事ではないか。 この③の基本方針についての記載が弱くより具体的に記載して欲しい。これが最重要ではないか。 ①、②、④、及び⑤は基本設計で十分に間に合う。③については市民と適切な分野の専門家での熟議が必要ではないか。 例えば支所(36箇所)との連携、南北に細長い地勢、京阪沿線にあること、将来の人口減少、来庁者の属性・頻度、及び新たなモビリティ(GSM,電動機器等)の出現などへの対応を検討し長寿命だけではなく市政の変化への対応についての方針を提示して欲しい。現状では1Fの市民交流スペースと巨大なピロティ駐車場がその構造上の理由で長寿命化・経年費用故見直すべきではないか。 なお基本コンセプトの「①健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎」は付加価値であり都市公園内に建設するための理由ではないか。「②災害時に機能する防災拠点としての庁舎」、「④環境に配慮した自然に優しい庁舎」、及び「⑤自治体DXを推進しネットワークを強化する庁舎」は必須要件である。大津市として特段の事情はない。</p>	本計画は市民アンケート、市民ワークショップ、専門家からの意見を踏まえて案をとりまとめています。 1階ピロティ駐車場案とした経緯については、本計画(31ページ)に記載のとおり、市民の利便性、多目的グラウンドへの影響、公園との一体利用、周辺環境、駐車場の形式(新庁舎1階ピロティ駐車場、平面駐車場、立体駐車場)、災害時の想定などについて、コストも含めた比較検討を行いました。 将来への対応については、本計画(27ページ)に記載のとおり、人口減少を含む将来の社会変化を見据えた柔軟性の高い庁舎の実現を目指すこととしています。詳細については、設計段階で検討する内容であることから、原案のとおりとします。

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
10	12	基本コンセプト1 健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎	新庁舎の周囲には弘文天皇陵、新羅善神堂、法名院(フェノロサ墓)などの名所がいくつかあります。残念ながらこれらを巡るルートは非常に分かりにくいのが現状です。ぜひこれらを巡るルートを整備していただきたい(できれば、法名院から早尾神社、皇子が丘公園、近江大津宮遺跡を経て近江神宮に至るルートも整備していただければ)と思います。そしてそのルートを市民の交流スペース(エントランスかロビー)に、写真や説明パネルとともに掲示していただきたいと思います。近江神宮ゆかりの百人一首の解説や関連グッズの展示などもいいですね。おおつ光ルくんも大いに活用しましょう。市道出入口の案内板などにも、光ルくんが登場してもらうというのはいかがでしょうか。	本計画(12ページ)に記載のとおり、新庁舎の基本コンセプトとして「健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎」を掲げており、庁舎整備に併せた周辺の歴史文化を活かし、大津愛を育む取組は必要であると考えています。ご意見については、今後の庁舎整備に向けた取組の参考とさせていただきます。
11	12	基本コンセプト1 健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎	原案:公園と一体になった庁舎 修正案:まちと公園と一体となった庁舎・・・ 理由:まちづくりの拠点であり象徴であるので庁舎が立地するまちの再開発は必須項目	本計画(12ページ)の基本コンセプト1、健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎に記載のとおり、新庁舎は、本市のまちづくりの象徴となり、市民のまちに対する愛着と誇りを醸成する役割を担うものとしています。このことから、原案のとおりとします。なお、庁舎整備に伴う再開発は検討していません。
12	12	基本コンセプト1 健康・育み・歴史文化のまちづくりの拠点となる公園と一体となった庁舎	原案:新庁舎は・・・愛着と誇りを醸成する役割を担うものと考えています・・・ 修正案:・・・考えています。新庁舎が立地するまちを、大津市民が集い、憩う大津市の中心に相応しいまちに作り上げます・・・ 理由:まちづくりの拠点であり象徴であるので庁舎が立地するまちの再開発は必須項目	
13	14	基本コンセプト2 災害時に機能する防災拠点としての庁舎	・意見 現行の案では40mx170m程度の総6階建であるが屋上に防災ヘリポート等の検討についても記載してはどうか。それらが不要であれば本市の考え方で明示して欲しい。	現在、皇子山総合運動公園内の陸上競技場が滋賀県の防災ヘリコプターなどが、離着陸を行うことができる飛行場外離着陸場となっていることから、新庁舎の屋上に防災ヘリポートを設置することは考えていません。このことから、原案のとおりとします。
14	18	基本コンセプト3 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎	若い人や障害者に配慮するのは良いが、老人対応の視点も織り込んで欲しい。	本計画(18ページ)に記載のとおり、市役所には、高齢者、障害者、乳幼児連れの方、外国人など多様な方々が訪れるため、庁舎整備に当たっては、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方やダイバーシティにも配慮した、高齢者も含む全ての人に優しく、利用しやすい庁舎を目指しています。このことから、原案のとおりとします。
15	18	基本コンセプト3 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎	「市民に開かれた庁舎は、市民が自分たちで育てるもの」という機運を醸成することが重要だと考えています。現在の庁舎は、開かれた庁舎、来やすい庁舎とはとても言えません。新庁舎は琵琶湖や三井寺、比叡山など、美しい自然と歴史的な遺産を一望できる、絶好の位置に建ちます。このロケーションを生かし、庁舎内に展望ロビーを設置してください。できれば360度景観が見渡せるよう、庁舎を一周できるような屋根付きの展望デッキのような形が望ましいと思います。	本計画(12ページ)に記載のとおり、新庁舎は、本市のまちづくりの象徴となり、市民のまちに対する愛着と誇りを醸成する役割を担うものと考えており、また、本計画(18ページ)に記載のとおり、新庁舎は市民に開かれ、市民に親しまれる庁舎を基本方針として掲げています。また、本計画(40ページ)に記載している展望スペースの設置は現時点で想定しているものであり、今後、基本設計で検討します。このことから、原案のとおりとし、ご意見については参考とさせていただきます。
16	18	基本コンセプト3 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎	いまの庁舎の周りには食事ができる場所がありませんので、新庁舎内に市民も利用できるレストランとカフェ(コンビニカフェでもいいと思いますが)をぜひ設置してください。カフェは多目的グラウンドを見渡せるようなオープンスペースに設置すれば利用しやすいのではないかと思います。(周囲の緑はできるだけ残すのが前提になりますが)開かれた利用しやすい庁舎にして、市民が何度も訪れるようになれば、災害時にも「あそこに避難しよう」という行動を、市民に起こしてもらいやすくなるのではないかと考えます。ぜひご検討ください。	本計画(18ページ)に記載のとおり、新庁舎には公園利用者も利用できる市民交流スペース(コンビニエンスストア、カフェ、市民も利用できる食堂など)の設置を検討しています。なお、新庁舎は災害時の防災拠点と位置付けていますが、避難所としては想定していません。このことから、原案のとおりとし、ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。
17	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	家族に障害者がいるため、障害者団体との交流もあり、障害に関わる仕事に就いていることから、いろいろな障害種別の方とお話する機会がありますので、障害者の視点から課題だと感じた点について意見を言わせていただきます。エレベーターの設置について、台数と広さについてですが、エレベーターの場所がすぐ分かるような表示と、台数も可能な限り多く、できるだけ広いものにして下さい。車イスは幅を取るため、他の人が乗れなくなります。ベビーカー利用者、高齢者、足腰が弱い方、今後高齢化の中で、利用したい人が増えます。順番をずっと待たなくていいようにして下さい。エレベーターだけでなく、スロープなども作っていただければより便利になると思います。トイレについても多くは右側のみに立ったり座ったりする時の補助棒などが付いていますが、右半身麻痺の方は非常に使いにくいそうです。両側につけるのが難しいなら、右に補助があるトイレと左に補助があるトイレを各階ごとに作るなど工夫していただきたいです。	本計画(21ページ)に記載のとおり、新庁舎のエレベーターやトイレなどの設備については、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインの考え方を組み合わせて設計段階で具体的な仕様を検討します。今回のご意見だけでなく、障害者団体等との意見交換でのご意見を今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。
18	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	市役所1階出入口に全フロアの案内図を電光掲示板で掲げてはいかがでしょうか。ろうあ者だけでなく一般市民にもわかりやすいと思います。各階階段またはエレベーターそばにも該当フロアの案内図を電光掲示板で掲げてはいかがでしょうか。緊急時の情報も出したら、安心と思います。	ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。
19	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	市役所1階出入口近くに聴覚障害者向けの手話と字幕の番組「目で聞くテレビ」を見るための聴覚障害者用情報受信装置アイドラゴン4を設置してはいかがでしょうか。聴覚障害者だけでなく多くの市民にとっても貴重な情報源となりますし、手話や聴覚障害者への市民への理解を広げるのにも貢献できます。さらに、緊急災害時に付属の光受信機が災害発生を光で知らせ、指定のニュース番組に手話と字幕が付くので、災害時のろうあ者の安全を守れると思います。	

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方	
20	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	全ての部署に電光掲示板を掲げてはいかがでしょうか。電光掲示板は呼び出し順番を示したり、緊急時の情報を出したりと、ろうあ者も必要な情報がすぐ入ってくるので安心と思います。	ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。	
21	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	エレベーターを新庁舎の真中に据え、透明ガラス張りにはいかがでしょうか。それが無理ならば、せめて扉の部分だけでも透明にはいかがでしょうか。また、エレベーターの押しボタン「非常ボタン」のすぐ上にエレベーター内と遠隔監視室をつなぐ液晶モニターを設けてはいかがでしょうか。そうしたら、エレベーターが急に止まった時ろうあ者も外部と連絡が取りやすいですし、エレベーターの外からもだれがエレベーターに閉じ込められているかが分かりやすいと思います。「非常ボタン」を押した後、「係員がエレベーターに向かっています」のような現在の状況を伝える文字表示が液晶モニターに映しだされると、安心と思います。「非常ボタン」を「みみマークボタン」にしたら、ろう者も分かりやすいと思います。		
22	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	エレベーターの各階の外扉の上にエレベーターの内部を映し出すモニターを付けたら、エレベーターが急に止まった時、だれがエレベーターの中にいるか分かって安心と思います。		
23	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	バリアフリースイッチの押しボタン「呼出ボタン」のすぐ上に液晶モニターを設けてはいかがでしょうか。そうしたら、緊急時ろうあ者も外部と連絡が取りやすいと思います。「呼出ボタン」を押した後、「係員がバリアフリースイッチに向かっています」のような現在の状況を伝える文字表示が液晶モニターに映しだされると、安心と思います。		
24	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	全ての部署に音声認識アプリや筆談アプリ、手話通訳動画が入ったタブレットを最低1機置いてはいかがでしょうか。ろうあ者が職員とコミュニケーションする際安心と思います。また、タブレットに緊急情報なども文字表示や手話通訳動画を映し出すと、安心と思います。		
25	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	全ての部署に発光・振動式呼出器を最低1機置いてはいかがでしょうか。ろうあ者が安心して順番待ちできると思います。		
26	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	いすを窓口と向かい合わせにするのがよいと思います。窓口の職員は待っている人を呼びやすいですし、待っている人も窓口の職員をすぐ見ることができるので、お互いよいと思います。		
27	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	すべての部署の職員が窓口対応するのに最低限必要な手話を覚え、実際にろうあ者と会話できると、安心と思います。さらに、手話マークや筆談マークをすべての窓口に置いたら、なお安心と思います。		
28	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	壁紙を無地のベージュ色に統一したら、手話通訳者が通訳をする際ろう者が通訳を集中して見やすいと思います。模様がついた壁紙、蛍光色の壁紙だと、逆に通訳を集中して見ることができなくなります。また、窓にも和紙のような薄透けするブラインドを付けると、部屋の中がちょうどよい明るさになると思います。		
29	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	廊下の曲がり角や階段の踊り場などに鏡を付けると、曲がり角の向こう側や踊り場の反対側などに人がいるかどうか分かり、より安全になると思います。		
30	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	階段の段の先端を、段の他の箇所と違った目立つ色(例:先端:黒色/段の他の箇所:ベージュ色)にすると、高齢者や弱視者が安全に階段を昇り降りできると思います。手すりも壁と違った色にするとより安全になると思います。		
31	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	必要ない柱や壁の出っ張りや張りは全てなくするのがよいと思います。盲ろう者を含め視覚障害者だけでなく、通訳・介助者も移動しやすいと思います。		
32	21	(6)バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン	障害者駐車場だけ玄関前に屋根付き駐車場を作ってはいかがでしょうか。		
33	23	基本コンセプト4 環境に配慮した自然に優しい庁舎	原案:基本方針省エネ・省CO2で……庁舎周辺環境と共生し、接続可能な……庁舎 修正案:基本方針省エネ・省CO2で……庁舎周辺環境と共生し、接続可能な……庁舎環境に配慮した庁舎の建築を率先垂範事例として、大津市域全体の省エネ省CO2を牽引し市域のゼロカーボン達成に寄与する 理由:大津市は、市庁舎自体のゼロカーボン達成と大津市域全体のゼロカーボン達成のミッションを持つ。新庁舎をゼロカーボン庁舎として設計、建築する過程を通して、市域の事業者、団体、市民に、情報を提供し、啓蒙しなければならない。		本計画(23ページ)に記載の「本市は令和4年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進しています。これに伴い、新庁舎の省エネルギー化と省CO2対策を行い、耐久性、耐候性に優れ、長寿命な建築とすることで、ライフサイクルコストの抑制に努めるとともに、周辺環境と共生し、持続可能な社会を実現する庁舎を目指します。」としています。このことから、原案のとおりとします。

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
34	23	(2)周辺環境と共生し、持続可能な社会を実現する庁舎	<p>要旨</p> <p>人・環境・防災への配慮という意味で、移転先予定の現国体記念広場にある池および低木林のエリアを出来る限り残存させてほしい。</p> <p>生物多様性・ネイチャーポジティブ・土中環境改善など、近年推奨されている環境整備の観点を取り入れた庁舎・公園作りについても考慮してほしい。</p> <p>詳細</p> <p>移転先についてはもう決定してしまったのかと思うのですが、国体広場の池がどうなるのか資料を見てもよく分からず、つぶしてしまうのかな？と思い、それは勿体ないのではと思ってご意見しました。</p> <p>国体広場の、特に北側・東屋周辺のあたりは、低木の林と池があることで運動公園内で唯一自然な日陰と水場による涼が取れる、かなり貴重なエリアだと思います。公園周辺は高木はたくさん生えていますが、池はここにしかなく、自然に囲まれる形でほっと落ち着ける場所もここにしかありません。</p> <p>危険な暑さと言われる日がどんどん増えている中で、庁舎の大きい屋根があればその場所が涼しくなるかという点、高木低木両方が自然に生えている日陰の水場をそのまま残しておくのは、利用者にとっても環境にとっても良いことではないかと思えます。</p> <p>また特に、市街地にある池をいさなりなくしてしまうと、そこを利用していた野鳥などの水場がひとつなくなってしまうことにもなります。鳥は冬でも毎日5、6回水浴びをして、そうすることで寄生虫などが付くことを防ぐそうですが、今は池がある場所がどんどん減少しているためそれが出来なくなってしまい、結果病気になるったりして死んでしまうのだそうです。スズメの減少率が絶滅危惧に分類されたニュースなどが有名かと思えます。</p> <p>近年、生物多様性・ネイチャーポジティブなど、長い目で見た自然環境を回復する方向での環境づくりが大切だと言われていて、滋賀県でもそれを推奨されていたかと思えます。</p> <p>山や森など大きい自然を守るのはもちろん、その中継地点として市街地の中に水場と低木などの小さな自然が沢山あることが、鳥や虫など多様な生物が生き延びる余地を作ることになり、ひるがえってそれらから恩恵を受けている人間にとっても安心して暮らせる環境にもなるという考えです。</p> <p>今後新たに整備される予定という公園についても、これらの考え方を取り入れた環境作りを行うと、将来の世代に向けても誇れる地域づくりにつながるのではないかと思います。</p> <p>以下、意見の参考としてご確認ください↓ ネイチャーポジティブについて(環境省) https://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/eye/20240214.html 生物多様性について(NGO) https://www.wwf.or.jp/activities/project/5257.html 滋賀県の取り組み https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shizen/14035.html ビオトープの重要性について https://www.asahi.com/sdgs/article/15375033</p> <p>また、防災という観点でも池があり、色々な木が生えている環境というのは重要ではないかと思えます。</p> <p>災害というと地震だけではなく、水害も今後深刻になっていくのではと思われる中で、木が深く根付いていることが大地の保水力を高めることにもなります。地面がカチカチのまま樹木が深く根を張れない環境だと、保水力がなくなると泥がたまったままになり、災害の際の避難用地としても不適切ということになるかと思えます。LAGO大津の盛土が大雨で流れ出たというニュースがありましたが、植物の根が十分に張られていない環境だと容易にああなってしまうという分かりやすい例だと思います。</p> <p>対策として、公園一帯の樹木も合わせて、これも近年言われている「土中環境改善」という視点も取り入れての整備が重要になってくるのではないかと思います。京都の大宮交通公園などが公園整備と自然環境への配慮を両立した取り組みをしているので、大津市庁舎と運動公園周辺でも同様の取り組みをされるのもとてもいいのではないかと思います↓ https://kyoto-omiya-dochu-kankyo.studio.site</p> <p>以上です。 移転にあたって、長期的な豊かさにつながる市庁舎づくりになるといいなと思えます。ご一考いただけましたら幸いです。</p>	<p>本計画(35ページ)の<庁舎周辺のゾーニング案>に記載のとおり、庁舎整備に伴い、既存樹木を保存活用することを検討していますが、国体広場は解体する必要があります。このことから、原案のとおりとします。なお、生物多様性などの観点については、今後の庁舎整備や公園施策の参考とさせていただきます。</p>

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
35	29	第4章 施設計画の検討	<p>●「公園と一体化した市役所」というコンセプトの実現レベルに大変不安に感じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の多目的グラウンドを可能か限り維持することを暗黙の大前提として感じられるが、この理由・根拠について明示されていない。既得権への配慮が最優先になっているように勘づってしまう ・P13の公園と一体となった庁舎イメージとして挙げられている2点の写真は芝生公園に面しているイメージだが、P35のゾーニング案に示されているように実際は新設防球ネットで仕切られた野球場やサッカーグラウンドであるならば、このような望まれるイメージとは異なるものが出来上がってしまうだろう ・新庁舎に接して防球ネットで仕切られた、砂埃が舞い雨の日には泥濘化するグラウンドがあったのでは「運動場と一体化した市役所」でしかなく、老若男女の市民が落ち着いて憩える市民のための公園・市庁舎とは言えない <p>・多目的グラウンドは、災害時やびわ湖マラソンの集合場所を兼ねて、通常時はいつでも誰でも憩える芝生広場とし、野球場や試合前のウォーミングアップ場としてのグラウンドは南側国有地や現庁舎北側の空地を活用するなどの検討がなされていてしかるべきだ。また高校野球開催時には周辺の学校のグラウンドを活用することも考えられるだろう</p> <p>・「南側国有地は多目的グラウンドの代替地目的で取得した」と書いてあるが、一方、P33では陸上競技場利用者の駐車場とすることを考えているようで一貫性が無い</p> <p>・公園と一体化した市役所を標榜するなら、公園全体のランドデザインやその具体的な実現像も市民に提示して欲しい。お花畑的なイラストや他所のイメージ写真でお茶を濁すのではなく、市役所側から見たイメージパース等も提示して市民の意見を求めるべき</p>	<p>本計画(31ページ)に記載のとおり、新庁舎の形状と配置を検討する中で、多目的グラウンドへの影響などに配慮しているところですが、また、新庁舎と多目的グラウンドの間には庁舎前広場を整備する予定であります。今後、設計段階で詳細を検討する内容であることから、ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。</p> <p>別所合同宿舍用地(国)で代替公園の整備を想定していますが、庁舎整備の進捗に合わせて代替公園の整備を含めた皇子山総合運動公園のあり方について別途検討します。その他公園に関するご意見については、今後の公園施策の参考とさせていただきます。</p>
36	31	2. ゾーニング	<p>新庁舎は総合運動公園内に建築され、駐車場が1階部分に設けられる素案になっています。現市庁舎と新庁舎の間には京阪軌道・踏切があること、京阪大津京駅側にも踏切があること、現市庁舎前の県道47号は皇子が丘公園口～三井寺仁王門口までが辛うじて若干広いだけの短い道路であること、運動公園内道路はかなり狭いこと、不動川沿い道路や大門通も狭いこと、から運動公園への三井寺仁王門口側からの右折車、大津京側側からの左折車などで450台までの駐車を考えて公園内への車のアクセスは非常に悪いと思われます。尾花川側が開庁日の進入経路になっていますが、この道路も広いとは言えないし、出入りが一方に制限されることで市民にとっては回り道となって利便性が悪く、運用開始後の混雑が目に見えるようです。中消防署跡とその隣接空き地、現本館・別館を利用し、順次建て替えながら高層整備する方が、京阪軌道が邪魔にならないので上記の同じ条件でも駐車場はまだ格段に広くかつアクセスも改善できると考えます。京阪大津市役所前駅を新庁舎の表玄関的な位置づけにするような記述もあったと思いますが、県庁もある大津市の顔となる駅としては余りにもみすぼらしい感じです。JR大津京駅からの距離、駅までのマンションや人家の存在を考えると、敷地や周辺地域に対する配慮が現実的な視点で反映されていないと思います。一つだけ離れた現新館との接続橋という建造物も不要になり、コストも削減できると思います。展望スペースも現市庁舎の位置の方が前面の空間が広大で、眼下に住宅地の屋根が目に入る新市庁舎の場所はもう一つ興味を感じさせません。</p>	<p>本計画(1ページ)の1. 基本計画の目的と位置付けに記載のとおり、本計画は、令和4年12月に策定した「大津市庁舎整備基本構想(以下「基本構想」)」を基に検討しています。基本構想では、臨時駐車場(隣接旧国有地)を活用して庁舎を建てる場合には、別館、北駐車場の解体、それに伴う仮庁舎の整備、駐車場の確保が必要となること、また、土砂災害の対策工事が必要となるなど課題が多いことから、新庁舎については、土砂災害警戒区域に含まれない、ハザードの影響が少ない現在地以外へ移転建替えする方針としています。</p> <p>また、本計画の策定に向けて、実施した「庁舎整備基本計画に向けた詳細な調査」や市民ワークショップなどの結果を踏まえ、皇子山総合運動公園(一部)での庁舎整備を前提に、公園と一体となった庁舎整備による交流の創出や防災力の向上を目指す方針としました。このことから、原案のとおりとします。</p>
37	31	2. ゾーニング	<p>総合運動公園では学生から社会人までの野球の試合が行われています。一度に同じ場所で4試合もできる場所は天津市ではこの場所しかありません。その一部が新庁舎となれば、代替のグラウンドで試合する事となり自力で移動ができない小学生などの親は送迎に大変苦労します。上記理由から総合運動公園の一部を新庁舎として利用する事に反対します。</p>	<p>新庁舎の形状と配置については、本計画(31ページ)に記載のとおり、市民の利便性、多目的グラウンドへの影響、公園との一体利用、周辺環境、駐車場の形式(新庁舎1階ピロティ駐車場、平面駐車場、立体駐車場)、災害時の想定などについて、コストも含めた比較検討を行いました。このことから、原案のとおりとします。</p>
38	31	(1)周辺環境に配慮した新庁舎のゾーニング	<p>原案:検討においては、公園と一体になった庁舎・ 修正案:においては、大津市の中心となるまちの核として、まちと公園と一体となった新庁舎・ 理由:公共交通機関と新庁舎を結ぶプロムナードと、その周辺のまちの再開発が必要</p>	<p>本計画(31ページ)の<新庁舎の形状と配置の主な検討項目>に記載のとおり、京阪大津市役所前駅やJR大津京駅からのアプローチ動線やエントランス機能の検討をします。このことから、原案のとおりとします。なお、庁舎整備に伴う再開発は検討していません。</p>
39	31	(1)周辺環境に配慮した新庁舎のゾーニング	<p>原案:さらに・必要があります。 修正案:・必要があります。また大津京周辺のアクセスを含めまちの再開発も必要です。 理由:公共交通機関と新庁舎を結ぶプロムナードと、その周辺のまちの再開発が必要</p>	
40	31	<新庁舎の形状と配置の主な検討項目>	<p>検討項目に追加:(追加)新庁舎～大津京のまちづくり 理由:公共交通機関と新庁舎を結ぶプロムナードと、その周辺のまちの再開発が必要</p>	

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
41	31	(2) 新庁舎の形状と配置 <新庁舎の形状と配置の主な検討項目>など	<p>多目的グラウンドへの影響について 新しい庁舎の位置をみると、現在のテニスコートと多目的グラウンドの一部を利用することを想定されていますが、多目的グラウンドをどの程度削る想定をしておられるのでしょうか。スポーツやイベントに活用可能な多目的グラウンドとしての機能を維持するエリアとして検討するとされていますが、現在の老若男女が利用する各種大会は縮小が余儀なくされるのではないのでしょうか。</p> <p>同じく今回の整備で影響を受けるテニスコートについては、同様の施設が津市内の各所にあり、その中には公共交通機関で通えるところもあるなど、その代替になる施設は確保できるものと考えますが、多目的グラウンドについては代替の施設があるのでしょうか。私が知り得る限りでは、伊香立や田上など公共交通機関では通にくい施設はあるものの、現在の各種大会を実施できる施設はないと考えます。</p> <p>多目的グラウンドは、私たち市民にとっては四面グラウンドとして馴染みがあり、スポーツ少年団の大会(私の子どももお世話になりました。)、中学校の大会、大人の野球大会(早朝野球大会も見せておりました。)、高齢者のグランドゴルフ大会など、老若男女問わず、市民がスポーツ大会をするために集う場所です。これは、天津市の中心にあるという立地と、一度に複数の試合が行えるグラウンドの広さがあったからこそと思っています。</p> <p>今回の整備で、グラウンドが狭くなってしまうことで、これらの各種大会はどうなるのでしょうか。大会によってはなくなってしまうのではないのでしょうか。</p> <p>新しい庁舎は大事ですし、ぜひとも進めてほしいところですが、そのために、市民の活動の拠点を縮小させることは本当に適当なのでしょうか。市役所の建設で、市民の活動を制限することは本末転倒ともいえるのではないのでしょうか。</p> <p>皇子山総合運動公園での建て替えが、第一候補になった経過も拝見し、理解はしましたが、庁舎の面積などは既存の施設もある中で、まだまだ検討できる部分と考えます。市民の活動の拠点である多目的グラウンドを削ることなく、存続させる方法を検討いただくことを切に願います。</p>	<p>新庁舎の配置及び多目的グラウンドへの影響については、本計画(35ページ)の<庁舎周辺のゾーニング案>に記載のとおりであり、多目的グラウンドへの影響を配慮し、検討したものです。</p> <p>また、別所合同宿舎用地(国)で代替公園の整備を想定していますが、庁舎整備の進捗に合わせて代替公園の整備を含めた皇子山総合運動公園のあり方について別途検討します。その他公園に関するご意見については、今後の公園施策の参考とさせていただきます。</p>
42	31	(2) 新庁舎の形状と配置について	<p>●新庁舎の詳細計画・設計について ・P32のA”案がほぼ決定なのか、今後詳細設計を依頼するにあたってこれが大前提になることを危惧する。建設費試算用の配置図が独り歩きしそう。 ・設計を依頼された建築家は「公園と一体化した庁舎」のグランドデザインを含めて、もっと優れたアイデアを提案したいと考えているに違いないと思う。それがこの素人っぽい「基本計画(案)」に規定されてしまうのはもったいない。 ・たとえば「おにくる」は茨木市長の無茶振りに近い理想論を建築家・伊藤豊雄が真っ向から受け止め、竹中工務店がコスト意識を持って実施設計に当たること、145億円あまりで完成したと聞く、それに比べこの程度の案の津江市役所新庁舎が100億円も高いというのは理解に苦しむ。 津市もトップのビジョンと実行力で、総工費250億円以上という投資額にふさわしい末永く津市民の誇りとなるような公共物を作っていただきたいと切に期待する</p>	<p>ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。</p>
43	33	(4) 新庁舎駐車場の配置と台数	<p>1, 新庁舎の駐車場有料化のご検討をお願いしたいです。 新設された守山市役所でも駐車場は、有料化されており、1時間以内は、無料。 1時間以上の場合は、庁舎利用者へは窓口で駐車チケットを渡す仕組みになっています。 休日などにイベントの開催なども想定されていますので、そういったところで少しでも財源の確保になるのではないかと思いますので、提案いたします。</p>	<p>新庁舎の駐車場有料化については、今後の参考とさせていただきます。</p>

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
44	33	(5) 周辺交通への影響	<p>●周辺の交通流に与える影響の検討ができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来庁者や職員の利用交通手段やルート別の交通量想定についてどのように考えているのか不明。検討の大前提として真っ先にデータをそろえて提示すべき ・京阪電車大津市役所前駅が最も便利な公共交通手段だが、本報告書では全くと言っていいほど言及されていないのが不思議。新館へのペDESTリアンデッキの検討は、同駅との関係性や現庁舎跡地の利用も含めあらかじめランドデザインとして描いておくべき <p>自動車交通について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P33で接道要件や駐車場台数、周辺交通への影響について「今後、引き続き検討」ですべて逃げているので、ここで指摘しても仕方がないのかもしれないが、運動公園の中に駐車場を作るとことは単なる来庁者だけにとどまらない駐車需要(台数、滞留時間)を喚起する可能性が高いのではないか ・新庁舎に付置されるピロティ&平面駐車場で駐車場需要をカバーできない場合の交通渋滞が心配。将来の自動車の減少を期待して楽観視した計画に見える。当面のピーク需要にフォーカスし、周辺道路に渋滞を招かないようにより綿密な計画を立てるべき。また満車時に車をどこへどのように誘導するのかについても検討しておくべき ・ピロティ駐車場はかなり太いコンクリート柱が林立するはず、また免震構造のバッファスペースも考慮すると思ったほど駐車台数が確保できない可能性がある ・「雨に濡れないピロティ駐車場」にこだわるのでは無く、周辺も含めて計画的に駐車場を整備すべきだ。実施設計の前に綿密に検討をしていただきたい ・P35ゾーニング案によると、閉庁日の車両進入経路として野球場の既存園路を大回りすることが提示されているが、特に大会開催時の週末に庁舎駐車場を開放することを想定するならば、安全性に不安がある <p>・新庁舎への自動車でのアクセスルートは尾花川交差点方面から直進で市役所へアクセスできる道路を作る方が真っ当ではないだろうか。その際、球場との間は歩行者用の園路をオーバーパスにするなどして歩車分離を徹底する。P33図内に示されている「駐車場(検討予定)」のために削るくらいならば、この道路に振り向ける方が価値がある。また、線路西側への立体交差にも展開しうる</p> <p>・将来のMaaSに対応したシンプルな道路ネットワーク構造も都市デザインとして考慮すべきだと思う。出入口の直近に京阪電車の踏切が存在することに考慮した形跡がないのが心配。都市計画としては線路との立体交差ポイントを設けるようなことも考慮するのが常識的だと思う</p>	<p>本計画(33ページ)に記載のとおり、交通量調査については、基本設計の段階で実施します。</p> <p>また、本計画(31ページ)の<新庁舎の形状と配置の主な検討項目>に記載のとおり、京阪大津市役所前駅から新庁舎へのアプローチ動線やエントランス機能の検討をしておりますが、35ページの<庁舎周辺のゾーニング案>でも同様に「京阪大津市役所前駅から新庁舎へのアプローチの検討」を追記しました。</p> <p>駐車場については、今後の交通量調査の中や本計画(33ページ)に記載のとおり、新庁舎の駐車場だけでなく、現在の庁舎北駐車場や、現庁舎を解体した場合の跡地の活用を検討する中で、適正な駐車台数の確保に努めるとともに、運用についてのご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>新庁舎へのアクセスルートについては、ご提案の進入路についても検討はしましたが、多目的グラウンドへの影響が非常に大きくなることから、本計画(35ページ)記載のとおり、<庁舎周辺のゾーニング案>としてとりまとめたところであり、原案のとおりとします。</p> <p>周辺道路に関するご意見については、今後の庁舎周辺の交通アクセス検討において参考とさせていただきます。</p>
45	34	<周辺利用を含めた一体利用のイメージ>	<p>現在の陸上競技場、野球場の駐車場は狭く、止められないので、もっと台数を増やして欲しい。</p>	<p>本計画(33ページ)に記載のとおり、公園駐車場については、新たに多目的グラウンド南側などに公園利用者用の平面駐車場を確保することを検討しています。本計画(33ページ)の図面にも多目的グラウンド南側に「駐車場(検討予定)」と記載していますが、わかりやすいように表現を修正します。</p>
46	34	<周辺利用を含めた一体利用のイメージ>	<p>スポーツ会館、うかるちゃんアリーナと滋賀ダイハツアリーナができた事で、耐震問題もあり閉鎖になりますが、その煽りで、子供を通わせていた体操教室が無くなりました。</p> <p>皇子山の体育館で実施されていた教室などは定員も多く通わせられず、体操教室の場所の確保が激化しているようです。何かスポーツをするのにダイハツアリーナまでは足を運びにくく、国体の為に建てた施設なのに健康から遠ざかる結果です。庁舎も線路を挟んだ現在のテニスコートの位置にと新館との行き来もしにくく心配しております。</p> <p>中途半端なことをせず、全ての機能を有したものをグラウンドにでも建てて、現庁舎跡をグラウンドにするなり、アリーナを作り、体操教室なども出来るスペースにして欲しいです。</p> <p>上記が叶わないとしても、テニスコートの移転先である三角公園付近の近畿運輸局合同庁舎を全て更地にして、アリーナやテニスコートを含む子供の体操教室から高齢者のスポーツ施設を盛り込んだ総合アリーナなど、スポーツ会館の機能を補完した施設を建てて欲しいです。</p> <p>ほとんど誰も住んでいない合同庁舎は必要ですか？空き部屋ばかりで防犯的にもあまりよろしくなく感じます。</p> <p>民間でアリーナを模索する動きもあると聞きます。うまく取り込んで滋賀の、大津市民の健康寿命を延ばす施設を望みます。</p> <p>近くには国宝、重文となった疏水もあり、グラウンド、トラック、球場もある立地。大きなアリーナがあればより大津市に人を呼びこめて財政的にもいい起爆剤になると思います。</p> <p>庁舎機能だけではなく様々な事を盛り込んでの計画にして頂きたいです。</p>	<p>新庁舎の配置については、多目的グラウンドへの影響などに配慮し、検討したものであり、新館と新庁舎の接続については、本計画(37ページ)に記載のとおり、新館接続デッキの必要性については、防災拠点として企業局との連携や新館に配置する機能との連携、来庁者の移動の円滑化と安全確保の観点から、庁舎整備の進捗に合わせて検討することとしています。</p> <p>また、別所合同宿舎用地(国)で代替公園の整備を想定していますが、テニスコートの再整備の有無については現時点で判断していません。庁舎整備の進捗に合わせて代替公園の整備を含めた皇子山総合運動公園のあり方について別途検討します。その他公園に関するご意見については、今後の公園施策の参考とさせていただきます。</p>
47	34	<周辺利用を含めた一体利用のイメージ>	<p>①別所合同宿舎用地 ・熊野川沿の道 通学路にも利用されているが、車がすれ違えないくらい狭いため2車線になるとうれしい。 ・熊野川は大雨時あふれることもあるため、暗渠化は反対です。そこで、公園内に取り入れ、広く浅い川(柵もなく)としてはと思います。</p>	<p>周辺道路等に関するご意見については、今後の庁舎周辺の交通アクセス検討において参考とさせていただきます。</p>

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
48	34	<周辺利用を含めた一体利用のイメージ>	<p>大津市庁舎整備基本構想で皇子山総合運動公園(一部)での整備を前提に進めるに当たり、市内の都市計画公園の整備状況を踏まえ、同等規模の代替公園を整備するとされています。</p> <p>大津市は他市に比べると軟式野球専用野球場が少なく4面グラウンドの使用状況については休日昼間はほぼ空きの無い状況です。(メジャーリーガー大谷選手の活躍により野球人気は上昇しているが大津市ではキャッチボールする場所も少ないのが現状です。)</p> <p>代替は公園部分だけではなく、グラウンド面積減少によるさらなる市民の野球機会喪失の代替策の検討をすべきと考えます。</p>	別所合同宿舎用地(国)で代替公園の整備を想定していますが、減少する多目的グラウンドの再整備の有無については現時点で判断していません。庁舎整備の進捗に合わせて代替公園の整備を含めた皇子山総合運動公園のあり方について別途検討します。その他公園に関するご意見については、今後の公園施策の参考とさせていただきます。
49	34	<周辺利用を含めた一体利用のイメージ>	<p>提案「別所駅と市庁舎をデッキで繋ぐ」 新庁舎は、車いすの方、ベビーカーを押す人、高齢者にも優しい出入りしやすい建物にしたい。JR膳所駅のように、列車ホームの上に改札口デッキがある。改札口デッキと新市庁舎の2階部分(市民サービス窓口)を繋ぐ。京阪電車浜大津駅も同様。</p> <p>コンセプト:バリアフリー 電車を降りて、ホームからエレベーターに乗り、2階改札口を出る。段差のない緩勾配の通路を進み市役所に入る。屋根壁が有り、雨風をしのぎ、暑さ寒さからも身を守り、入口は自動ドアが、利用者を迎え入れてくれる。 #健常者には、健康のため普通の階段も用意します。</p> <p>相乗効果 ・市役所利用者の公共交通機関乗車だけでなく、市職員の通勤も京阪電車他の利用で、CO2削減にもなり地球温暖化対策の一助となります。</p> <p>・サライ喫茶店他に立ち退いてもらい、敷地を確保する。そこにエレベーターシャフトとデッキの支柱を建てる。例えば、サライ喫茶店は庁舎1階市民ロビー付近に移る。多目的グラウンド利用者も喫茶店に立ち寄れるだけでなく、市庁舎に来た人にも喫茶軽食で寛げる場所を提供する。</p> <p>・ホーム上に改札口デッキがあると言うことは、現在の大津市庁舎の新館と歩道橋で繋ぎ易くなる。既設新館の北側にある市役所駐車場が有効活用できると言うことになる。クルマ通勤する市職員だけでなく、利用者が現在ある北側駐車場にクルマを停めて新庁舎を訪れる時も、信号待ちや踏切待ちのストレスを味わうことなく安全に市役所に入ることができる。市職員が他所(国機関・県庁や地域・市民)にクルマで移動する場合に、公用車に乗りに行く、又は帰庁した折など、安全で時間短縮になる。荷物がある時などは尚更有効です。雨風をしのげる屋根と壁は欲しいです。</p> <p>・既存の駐車場を有効活用し易くすることで、新規駐車場を整備する台数を減らせるのではないかな。経費縮減にもなる。緑を少しでも残すと言う環境配慮としたい。</p> <p>まとめと; ①高齢者、障がい者、乳幼児連れの方に優しい取組みをする。②公共交通機関が便利である事で、地球温暖化対策にも通じる。 ③親しまれ、人が集まり、くつろぎ、にぎわう場を提供する。④来庁者のみならず、市職員もストレス緩和で行政サービス向上。 ⑤既存駐車場の活用で建設費用の縮減と、多目的グラウンドの緑を少しでも多く残し環境配慮とする。</p> <p>↳既設市役所新館と京阪電車ホーム上改札口デッキを繋ぐ場合、京阪電車の軌電線高さから改札口デッキ床高を高くする必要があり、有ります。既設新館の2階部分に繋がるのが良いと思われる。新館と旧館を繋ぐ渡り廊下部分に接続して、コストを抑える。新庁舎の1階と駐車場部分の階高も高くして、開放感を高めかつ、最近の背の高いワンボックス車に乗って来庁する利用者にも安心して1階に駐車してもらえるようにする。結果として、京阪電車改札口デッキから新庁舎2階へ渡り廊下を繋いだ場合に、通路の平坦性を確保し易くなる。</p>	本計画(31ページ)の<新庁舎の形状と配置の主な検討項目>に記載のとおり、京阪大津市役所前駅から新庁舎へのアプローチ動線やエントランス機能の検討をしておりますが、35ページの<庁舎周辺のゾーニング案>でも同様に「京阪大津市役所前駅からのアプローチの検討」を追記しました。
50	35	<庁舎周辺のゾーニング案>	<p>市民ワークショップに参加させて頂いた者です。 基本計画(案)拝見しました。我々の「あったらいいな」をこんなにもきれいにまとめて頂き感激いたしました。ありがとうございます。わくわくしております！</p> <p>概ね意見が盛り込まれているなと思いつつ、1点だけ。 おそらく今後の検討事項とご認識頂いてることは思うのですが、 京阪大津市役所駅からの導線についてあまり記載がなかったことが気になりました。 できれば、京阪の改札でたら傘いらず(雨傘も日傘も!)で市役所に入れたらとてもとても便利だなと。車に乗れない(乗らない)ご高齢の方や赤ちゃん連れの来庁者にも優しい市役所になるのではと思います。 どうかご検討のほどよろしく願いいたします。 新庁舎の完成を楽しみにしております。</p>	

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
51	35	<庁舎周辺のゾーニング案>	<p>「新市庁舎の進入路(新庁舎の顔)」 新市庁舎への進入(退出)は、県道558号(旧R161)の尾花川交差点より西に進み、皇子山総合運動公園の交差点から進入(または退出)する。皇子山総合運動公園のT字路市道幹1033号線交差点を十字路に交差点改良する。あわせて、右折レーンのある進入道路を建設することで東向きに直進して県道558に接続する。北側に左折してJR大津京駅及び、湖西バイパス皇子丘ランプ方面に繋がる。南方面に右折して、ヴェルツブルク通り・北国街道を進み、道なりに左折して、大津日赤病院、JR大津駅、滋賀県庁前を、通り、名神高速道路大津インターチェンジに接続する。</p> <p>コンセプト:親しみやすさと利用しやすさ 信号のある交差点からの出入りする事が安全の担保となり、市民にとって一番の行き易となります。 利用し易さであり、親しみやすさとなります。 市役所の建物を正面に見ながら進入する安心感は、他所からの初めての来庁者にとっても正面に顔が見える心強いものとなります。</p> <p>目的と効果:陸上競技場利用者の出入りする車両と、市庁舎出入りの車両が大津市役所駅の踏切前で混雑する懸念をなくす。踏切の開閉による、市庁舎側から右折で出る困難や来庁者が、踏切渋滞の車列の後ろに並ばされ、市庁舎に入るまで時間がかかるという心配がなくなる。</p> <p>要約すると ①京阪石坂線の踏切の影響を受けない出入口を造る。 ②新市庁舎へのアクセスが、し易い、判り易い。 ③出入りし易いことは、安全につながります。 ④長等山を借景とした6階建ての新市庁舎とそこへ続く道は、「大津」の顔になります。</p>	<p>新庁舎の進入路については、ご提案の進入路についても検討しましたが、多目的グラウンドへの影響が非常に大きくなることから、本計画(35ページ)記載の<庁舎周辺のゾーニング案>のとおりとしています。このことから、原案のとおりとします。</p>
52	35	<庁舎周辺のゾーニング案>	<p>②新庁舎周辺広場 ペットの散歩、進入禁止エリアを設けてほしい。</p>	<p>新庁舎周辺広場の運用については、今後、公園との一体性を踏まえて検討します。</p>
53	36	(5) 周辺交通への影響 <新庁舎と山並みとの関係性イメージ(多目的グラウンドから)>	<p>・意見 このイラストが意味することに違和感がある。 このイラストは多目的グラウンドからの関係性イメージとして西側の稜線が見えることを重視している。すでに都市公園内へ建設することを決定(土地の確保・都市計画の変更等)するが構造体として市庁舎本来の機能と利便性を重視した基本計画にすべきではないか。 新庁舎を都市公園に設置するとしてもこのイラストの趣旨は不可解である。公共施設の最たる市庁舎は高層であっても市民の利便性とその形状美観を重視すべきではないか。都市公園の中へ建設する市庁舎であっても森の中に隠す必要はないと考える。歴史と伝統のある都市の市庁舎はそのまちのシンボルとして堂々としている例がある。浜大津、中心市街地、琵琶湖の対岸、及び三井寺など高台等から大津市庁舎とわかるような形状・高さがあってもよいのではないかと考える。基本計画作成前後で景観計画、屋外広告物、および公共施設の景観の専門家の意見(大津市景観アドバイス制度等)を求めて見直してほしい。 なお建設予定の都市計画では第7種高度地区であり第2次大津市景観計画(2章-32)で「市街地景観エリア」として「市役所等の行政機関が立地する地域においては、公共空間を充実し風格あるまちなみ景観を形成します。」と記載されている。 大津市における高度地区 https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/035/1303/g/toshi/1390523220786.html 第7種高度地区: 容積率400%以下の商業地域(第6種高度地区の地区を除く。)及び容積率300%の近隣商業地域のうち、琵琶湖岸に隣接又は近接する一部。 【ご参考】 ・フィラデルフィア市庁舎市内の複数の主要道から庁舎の塔が視認できることをルール化 ・三木市庁舎(兵庫県)三木城址の高台に市民の利便性を考えた利用しやすい構造体(人口7.2万人) 傾斜にあるので3Fがエントランス。3Fには正面玄関福祉課、障がい福祉課、こども福祉課、高齢福祉課、介護保険課福祉事務所税務課、債権管理課市民課、保険年金課等及びみつきいホールレストラン、ATMがある。駐車場は地上と傾斜地を上手に利用している。</p>	<p>本計画(12ページ)に記載のとおり、新庁舎は、本市のまちづくりの象徴となり、市民のまちに対する愛着と誇りを醸成する役割を担うものと考えています。なお、本計画の素案の段階で令和7年3月に本市都市計画審議会にて素案を説明し、意見をいただいております。また今後、設計段階で大津市景観アドバイス制度などの活用による専門家の意見を聴取する予定です。</p>
54	37	①新館接続デッキについて	<p>是非実現していただきたい。特に雨天時などの来庁者の移動に非常に便利です。特に身体に障害がある人、自分で傘がさせない人にとっては新館と新庁舎の移動がずいぶん楽になります。</p>	<p>本計画(37ページ)に記載のとおり、新館接続デッキの必要性については、防災拠点として企業局との連携や新館に配置する機能との連携、来庁者の移動の円滑化と安全確保の観点から、庁舎整備の進捗に合わせて検討します。</p>

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
55	37	①新館接続デッキについて	③新館接続デッキ あれば便利なのは理解できますが、地震に耐えられるのか不安に思います。揺れ方の違う建物とつなぐのは困難または高額だと思う。	本計画(37ページ)に記載のとおり、新館接続デッキの必要性については、防災拠点として企業局との連携や新館に配置する機能との連携、来庁者の移動の円滑化と安全確保の観点から、庁舎整備の進捗に合わせて検討します。
56	37	①新館接続デッキについて	1, 新館接続デッキについて、浜天津駅周辺の連絡橋を想像いたしました。 財源がない中で接続デッキは検討以前に本当に必要なものなのかが不明なところですが、市民サービスとしては、ありがたい限りですが今回に限っては贅沢品のように感じられます。また、新館・第二別館も今後いつまで耐震強度が持つのかもわからないため、本格的に検討されるのであれば、耐震強度があと何年持つのかもご提示いただきたいです。	
57	40	(3)想定する各部署配置構成	今一度見直していただきたいです。特に福祉窓口が3階になるとする案に無理を感じます。県内のいくつかの市役所を見ましたが、1階に市民サービス系窓口、福祉系窓口をつくっておられるところがどんどん増えてきています。やはり住民にとって使いやすい、また災害時に自力で避難しやすいといったメリットがあるからだと思います。 防災の観点から、雨に濡れずに来庁できるようにということですが、1階全てを駐車場にすることによって住民にとって使いやすい市役所になるのでしょうか。被災時には重要な役割を果たすことは承知していますが、毎日の住民の使いやすさから考えればどうか、再検討していただきたいです。災害時はエレベーターが大混雑することが予想されますし、停電の危険性については非常用電源で対応することでしたが、火事などで煙に巻かれれば、エレベーターの順番を待っていては危険です。職員さんが避難誘導に労力を使われるなら、1階に窓口を置いた方が、車イスの方等も自力で外の広場に出ることが出来ます。どちらが防災の観点で有効なのか、人の命を大切にするという視点から考えていただきたいです。 P10の1班の提案に「見栄えのいい、ニュースになるような外観に！」とありますが、天津市の新庁舎は他の所とは違うピロティ駐車場を作った！！というようなアピール効果を思っておられるならそんな必要を私たちは望んでいません。利便性のいい配置にしていきたいです。 1階のピロティ駐車場が譲れないなら、新館の1階に福祉系窓口を持つことはできないのでしょうか。北駐車場を整備すれば、ここなら雨にもあたらずスムーズに窓口に行けると思っています。一度ご検討をお願いします。接続デッキがあれば、新庁舎への移動もスムーズです。	新庁舎の形状と配置については、本計画(31ページ)に記載のとおり、市民の利便性、多目的グラウンドへの影響、公園との一体利用、周辺環境、駐車場の形式(新庁舎1階ピロティ駐車場、平面駐車場、立体駐車場)、災害時の想定などについて、コストも含めた比較検討を行いました。その検討の流れは、本計画(32ページ)に記載しています。 仮に1階に市民サービス系窓口を配置し、庁舎周辺に平面駐車場を確保することとした場合、庁舎整備敷地を広げる必要があり、多目的グラウンドへの影響が大きくなるだけでなく、駐車場の場所によっては庁舎までの距離が長くなり、天候によってはさらに不便なものとなります。これまでの市民アンケートや市民ワークショップ、専門家からの意見から総合的に判断し、障害の有無に関わらず、全ての来庁者の利便性(天候の影響を受けない、庁舎内外の移動距離、バリアフリー対応など)に配慮し1階ピロティ駐車場案としています。 については、1階ピロティ駐車場案は原案のとおりとしますが、本計画(40ページ)の想定する各部署配置構成において、本市が想定している1階ピロティ駐車場からの移動イメージの表記を追記します。 また、同じく本計画(40ページ)の想定する各部署配置構成において、福祉系窓口・執務エリアを3階と表記していますが、2階の市民サービス系窓口では総合窓口やワンストップ窓口を想定し一部福祉系窓口の配置も想定していることから、2階部分に「※一部福祉系窓口含む。」を追記します。なお、想定する各部署配置構成については、現時点で想定しているものであり、今後設計段階で配置等を詳細に検討し、全ての人に優しく利用しやすい庁舎の実現に努めます。 具体的な災害時を想定した庁舎レイアウト、機能や避難経路等については、設計段階で検討します。 また、新館については、本計画(2ページ)に記載のとおり、新耐震基準を満たしていることから、今後も企業局を中心に活用し、企業局以外の活用については、新庁舎や明日都浜天津の活用と整合を図りながら庁舎整備の進捗に合わせて検討します。 なお、その他公園施設に関するご意見については、今後の公園施策の参考とさせていただきます。
58	40	(3)想定する各部署配置構成(図) 1F 市民交流フロアと 2F 市民交流&市民窓口フロア	・意見 1Fに「市民サービス系窓口・執務エリア」を設置すべきではないか。幅40mx長さ170mの直方体の総6階建てのメリットとデメリットについての検討内容を記載してはどうか。 一般市民への来庁窓口のワンストップ化や庁内徒歩移動での経路と距離についての配慮を明示して欲しい。 ・理由 現在の本館1Fのように保険年金課/税の窓口/資産税課/市民税課/収納課/戸籍住民課/障害福祉課などを設置することがバリアフリー対応、停電時対応、及び本庁舎での本来の住民サービスファーストとするため。 ・提案 駐車場を1Fにしたことと店舗などを優先した経緯を想像するが市役所本来の市民サービス機能をエントランスの近くに設置可能な構造体への再検討を希望する。 構造体を40mx170mで6F建としたことも本件の原因ではないか。構造体は正方形に近い長方形が来庁する市民にとってありがたい。 市民交流機能云々を重視することは都市公園に庁舎を設置することへの代償ではないか。それらの機能(店舗・会議室兼ホール等)は本事業とは別途P-PFI等により都市公園内で実現することが適切ではないか。その方が本基本計画の各所で陳述している多くの機能(市民交流)を実現する時費用と将来費用をトータルで削減できるのではないか。 皇子山総合運動公園のありかたの検討や第4次天津市緑の基本計画中間見直しにも関連するので市民を含む多くのステークホルダーの声を参考にしたい。その旨 本基本計画に追記してはどうか。 なお R7年度天津市市議会の複数の常任委員会である議員さんが複数回 皇子山総合運動公園のありかたの検討について言及していた。これは重要な発言である。	
59	40	(3)想定する各部署配置構成	新庁舎は基本計画案によるとバリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザインを謳っているが、一階に駐車場をもってきて、障害福祉課など福祉関係課は3階とかにもって行く計画だが、矛盾しているのではないか。 また防災対策面でも一階は壁に囲まれている方が揺れに対しても強いのではないか。 5～6年前の朝に大きな地震が起きた時は駅のエレベーターやマンションのエレベーターなどが停まり復旧までに3～4時間かかり車椅子障害者は上にいる人は外に出られない状況があったり、駅のエレベーターが使えず電車を利用できなかったりしたが、これはエレベーターの安全装置の作動によるものではなかったのか。復旧までに時間がかかったのはエレベーターの安全装置解除のための人手不足があったのではないかと推測するがどうか。障害者及び高齢者など移動に制限がある人の避難のことを考えればやはり一階に福祉関係課を置くべきではないか。	

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
60	40	(3)想定する各部署配置構成	福祉系部署を3階に配置するとのことですが、1階に配置したほうがすぐに行け、安心と思います。実際、現在の障害福祉課は本館の1階にあって行きやすかったです。また、災害時もすぐ外の広場に避難しやすいと思います。	新庁舎の形状と配置については、本計画(31ページ)に記載のとおり、市民の利便性、多目的グラウンドへの影響、公園との一体利用、周辺環境、駐車場の形式(新庁舎1階ピロティ駐車場、平面駐車場、立体駐車場)、災害時の想定などについて、コストも含めた比較検討を行いました。その検討の流れは、本計画(32ページ)に記載しています。仮に1階に市民サービス系窓口を配置し、庁舎周辺に平面駐車場を確保することとした場合、庁舎整備敷地を広げる必要があり、多目的グラウンドへの影響が大きくなるだけでなく、駐車場の場所によっては庁舎までの距離が長くなり、天候によってはさらに不便なものとなります。これまでの市民アンケートや市民ワークショップ、専門家からの意見から総合的に判断し、障害の有無に関わらず、全ての来庁者の利便性(天候の影響を受けない、庁舎内外の移動距離、バリアフリー対応など)に配慮し1階ピロティ駐車場案としています。については、1階ピロティ駐車場案は原案のとおりとしますが、本計画(40ページ)の想定する各部署配置構成において、本市が想定している1階ピロティ駐車場からの移動イメージの表記を追記します。また、同じく本計画(40ページ)の想定する各部署配置構成において、福祉系窓口・執務エリアを3階と表記していますが、2階の市民サービス系窓口では総合窓口やワンストップ窓口を想定し一部福祉系窓口の配置も想定していることから、2階部分に「※一部福祉系窓口含む。」を追記します。なお、想定する各部署配置構成については、現時点で想定しているものであり、今後設計段階で配置等を詳細に検討し、全ての人に優しく利用しやすい庁舎の実現に努めます。具体的な災害時を想定した庁舎レイアウト、機能や避難経路等については、設計段階で検討します。
61	40	(3)想定する各部署配置構成	最上階で食堂・喫茶店を開いてはいかがでしょうか。	ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。
62	41	1.事業手法	事業手法に追加:(追加)地域や市民を巻き込んだ新市庁舎エリアのまちづくりの検討 理由:新庁舎から公共交通機関拠点を含む地域のひとびとと市役所が協働して、まちづくりを進める必要がある。新庁舎まちづくり検討会の設置を提案する。	本計画(41ページ)に記載の事業手法については、今後新庁舎の建設を進めるに当たっての設計業務及び工事の業者の選定や発注方法について記載しているものです。このことから、原案のとおりとします。なお、ご意見は今後の庁舎整備の取組の参考とさせていただきます。
63	41	1.事業手法	事業手法に追加:(追加)新庁舎のゼロカーボン対策についての情報を開示するなど、大津市域のゼロカーボン推進に、新市庁舎環境対策の経験を活かす方法について検討する。 理由:市域のゼロカーボン達成のために、事業者、市民が対策を行う必要があり、大津市は具体的な事例の提示を含めて啓蒙を行う必要がある。ゼロカーボン庁舎の建設は市域における極めて有効な率先垂範事例となるので、建設推進に沿う形での、市民、事業者、大津市で構成するゼロカーボン推進会議の設置を提案する。	
64	41-43	(1)事業手法の比較検討 <事業手法の比較>の図 (2)設計者選定方式の比較検討	・意見 41頁に「これらを踏まえ、事業手法の比較を行い、「従来方式」により事業を進めることを予定しています。」とあるが事業手法の決定時期と決定方法について可能な範囲で提示してはどうか。 43頁に「これらの点を踏まえ、質の高い設計者を選定し、市民意見の反映が可能な「プロポーザル方式」を採用することを予定しています。」とあるが1社だけの形だけの競争にならないようにすることは可能か危惧する。なぎさ公園関連事業の例(一社だけのプレゼンで市民の声は届いたのか不明な案件)から慎重にすすめるよう希望する。	本計画(47ページ)に記載の想定スケジュールに沿って庁舎整備を進めていくに当たり、庁舎整備事業が円滑に進められるように情報提供に努めます。
65	47	3.想定スケジュール	七年後は時間がかかりすぎる。期間短縮すべきです。	本計画(47ページ)に記載の想定スケジュールについては、基本設計や実施設計期間をはじめ、現在も国と調整している用地取得時期やその後の建築工事施工期間を考慮し、現時点の予定を示しているものです。今後、用地の取得時期や造成工事等によりスケジュールに変更が生じる可能性があります。庁舎整備事業が円滑に推進できるよう努めます。このことから、原案のとおりとします。
66	47	3.想定スケジュール	新庁舎整備は一刻も早く行うべきであり、早くて2032年度の開庁というのも遅いと考えています。南海トラフ巨大地震が発生した場合、大津市は最大震度6強に見舞われますが、その際に現在の本館と別館は崩壊する可能性が極めて高いです。発災時にいる市民、そして庁舎内で働く方々の数百から数千の命の重さを考えれば、2004年には耐震性が不足していると分かっていたこの庁舎を最低で7年も使うなど人命軽視と言わざるを得ません。庁舎整備に対する人員の増加、新庁舎の簡略化等で一刻も早く新庁舎の開庁にこじつけていただくよう強く要望いたします。	
67	47	3.想定スケジュール	1、スケジュール通り進んだ場合、新庁舎への移転及び供用は令和14年度～15年度にかけてとのことですが、これから7年～8年間もしくは、それ以上の期間。本庁・別館での市民サービスの提供になるかと思えます。利用者だけでなく、市役所職員の皆さんにとっても不安な日々が続く期間です。既に実施して下さっているかとは思いますが、移転前に大地震が起きてしまい、庁舎が倒壊してしまった際の対応もしっかり考え、市民である私達にも共有していただきたいと思います。	大地震が発生した際の対応については、庁舎本館・別館が利用できないことを考慮して策定している大津市業務継続計画【震災対策編】に基づき、適切に対応します。 なお、大津市業務継続計画【震災対策編】は本市ホームページに公開しています。

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
68	3・47	第1章はじめに 7. これまでの検討の経緯 第5章 施設規模・構成の検討 3. 想定スケジュール	3頁の図と47頁の図に関して今後の予定特にR7～8年度の予定についてより詳細に資料編としても提示してはどうか。 市民も大津市議会議員さんもいつ頃何を検討するのかが不明である。 例えば「R7.5.23公共施設対策特別委員会(大津市議会委員会チャンネル)で「長等学区の市民に説明会をしたのになぜ再度今回のパブリックコメントをするのか。。」などという発言があった。(発言者が大津市のパブリックコメント制度を理解していないのも問題であるが特定学区のみの意見を非公開で実施したのは疑問である。)議員さんへの対応もそうであるが市民への事前スケジュール等の情報を丁寧に公開しておくべきではないか。 【ご参考】 透明性の高い例として第25回滋賀県税制審議会では「森林税」と「みんなの移動を支え、暮らしを豊かにする新たな税」のあり方について適切にスケジュールを公開している。 滋賀地域交通計画策定に係る施策と財源(税制度含)の検討について 05【資料3-1】審議会スケジュール(PDF:297KB) https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5548114.pdf	本計画(47ページ)に記載の想定スケジュールに沿って庁舎整備を進めていくに当たり、その進捗について、市民の皆様への情報提供に努めます。
69	全般	第1章はじめに 7. これまでの検討の経緯	・意見 庁舎整備で新庁舎を都市公園内とすることの是非より、それを前提とした理由が丁寧に記載されている。 本来の市役所の機能(市民サービス, 職員の業務, 及び事業者の手続き等)の機能継続・改善の説明が弱い。市民ワークショップの意見を反映したという履歴が丁寧に記載されているが片手落ちではないか。 例えば支所(36箇所)との連携機能, バリアフリー, 公共交通利用の利便性(中長期の展望含), 自動車での来庁の容易性(正面エントランス付近のロータリーと駐車場の関係), 及び建物の運用・修繕手法とコスト等についての展望が欲しい。 ・理由 40m×170m6階建ての構造で人の流れ自動車の流れについての方針が不明確である。 庁舎にふさわしい正面エントランスのロータリーと駐車場については重要である。 現在の庁舎の課題(バリアフリー自動車タクシーバイク自転車等での来庁事情)対応を記載してはどうか。本館の南側にあるタクシー乗場, 本館東の正面での送迎は困難, 別館脇の駐車場からの動線の長さ起伏等現在の課題を本基本計画で圧倒的な解決方針を提示して欲しい。	設計段階で詳細を検討する内容であり、ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
70	全般	第3章 3. 市民が親しみやすく利用しやすい庁舎 (4) 利用しやすい駐車場 (5) 安全で便利な歩車分離のアクセス (6) バリアフリー・ユニバーサルデザイン・インクルーシブデザイン 第4章 2. ゾーニング (3) 新庁舎敷地と接道等	<p>・意見 本基本計画では市庁舎への来庁者の属性(個人か事業者か年齢目的), 頻度・総数, 来庁手段(公共交通, 自転車, バイク, 自動車等)を丁寧に記載していない。さらに将来の人口減少への対応についても明確な方針の記載が欲しい。基本設計開始までに提示して欲しい。</p> <p>・背景 庁舎への来庁者の属性について検討した。以下★印の事象が市民からみて適切・快適で現状より改善することが重要と考える。(重要度の軽重があるはずだが省略)</p> <p>【来庁者の属性】 A市民 a-1支所でも可能な相談・手続★ a-11事務手続(税・証明書等)★ a-12本人の相談・手続★ a-2庁舎で固有の専門的な相談・手続★ a-21情報収集・開示請求等★ a-22行事参加(傍聴等含)★ a-23専門性の高い相談・手続★ a-3その他 a-31コンビニで寛ぐためだけに来る a-32コンビニで買物の為だけに来る等 a-33市民利用(会議・展示等)★ B事業者 b-1支所・現地施設でも可能な相談・手続 b-11支所・現地施設でも可能な相談・手続 b-2庁舎で固有の相談・手続★ b-11事業推進の相談・手続★ b-12市民直結の事業者の必須手続(医療, 介護, 福祉, 教育関係者等)★ c-13マスコミ関係者等 c-14来賓(接遇重要者含) C皇子山総合運動公園へ来る人 C-1利用申し込み者 c-11利用申し込み者 c-12野球場・運動場・多目的グラウンド等で運動または活動する人 c-2利用申し込み無で来る人 C-21散歩市民・行事参加者等 検討すべき想定・調査データ α:a-1+a-2+a-3 β:a-1+a-2 γ:b-1+b-2 δ:b2 ε:c-11 ζ:c-21 庁舎での利便性は β+γまたはβ+δの値とその利用頻度・内容に大きく依存するものとして考えるべきではないか。 或いはそれ以外についても検討して欲しい。現状ではc-2を最優先にした建物構造体と接道になっている。 入手した参考データは下記のとおりである。これ以外には情報無で考えたことをお詫びする。 c-11 30万人/年(R5年度皇子山総合運動公園利用申請で利用人数;公園緑地課への問い合わせによる) 18,489件(R5年度皇子山総合運動公園利用申請件数;おおつデータブック2025 36頁)</p>	令和4年12月に策定した大津市庁舎整備基本構想(以下、「基本構想」という。)を策定するに当たって令和4年7月に1万人を対象とした市民アンケートを実施した際に来庁者の属性についても把握しています。その結果は本市ホームページに公開しています。また、将来の人口減少への対応については、本計画(27ページ)に記載のとおり、人口減少を含む将来の社会変化を見据えた柔軟性の高い庁舎の実現を目指すこととしています。詳細については、設計段階で検討する内容であることから、原案のとおりとします。
71			④公共交通機関 役所、駅、病院を車いすで移動できると良いとは思いますが。市役所、JR大津京、京阪浜大津(明日都)、日赤、市民病院、県庁を常に巡回するバス。正回転2台、逆回転2台とか。	公共交通機関に関するご意見については、今後の地域公共交通施策の参考とさせていただきます。

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
72			<p>建築関係の仕事をしているものです。庁舎整備計画の資料を拝見させていただきましたが、最も重要な建築物の性能に関する内容に言及がありませんでしたのでパブリックコメントさせていただきます。</p> <p>まずはじめに現庁舎は建設から60年程度で建て替えとのことですが、本来鉄筋コンクリート造の建物の寿命は100年以上あり、非常にもったいないと感じております。耐震性不足と設備の老朽化が原因とのことですが、身近な建物では滋賀県庁本館などは90年近く現役で使用されています。今回の新庁舎建設には250億円必要とのことで、多額の費用をかけて建設したのに、また60年程度で老朽化するような建物では非常に税金の無駄になってしまいます。ですので是非今回の新庁舎は、100年以上に渡って長期間使用可能な建物にして頂きたいと思えます。</p> <p>そこで長期間使用可能な建物に求められる要素は以下の通りになります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耐久性の高い長寿命な躯体にすること 2. メンテナンスコストを低減できる設計にすること 3. 光熱費などのランニングコストが低いこと <p>上記の各項目について説明させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耐久性の高い長寿命な躯体にすること 躯体の寿命とは、建物の鉄筋コンクリートの寿命のことです。コンクリート自体は長期間耐久性を維持できるので、鉄筋コンクリートの寿命とはコンクリート内部の鉄筋の寿命になります。通常コンクリートはアルカリ性なので内部の鉄筋は錆びることはありません。しかし、コンクリートは空気中のCO2や水、紫外線にさらされることにより外側から徐々に中性になり、鉄筋のところまで中性化が進行すると鉄筋が錆びて膨張しコンクリートが押し潰れて破損してしまいます。つまり鉄筋コンクリート寿命とは、コンクリートが内部まで中性化してしまうことを言います。つまり中性化を遅らせることが躯体の寿命を延ばすことになるのです。 <p>それではどのようにして中性化を遅らせるのでしょうか。重要な要素が複数ありますので下記に列挙します。</p> <p>①設計基準強度30N/mm2以上の高耐久コンクリートを使用すること。 コンクリートは水とセメントを混ぜて作られますが、水の割合が多いと低密度の強度の低いコンクリートになります。中性化を遅らせるためには水の少ない高密度なコンクリートを使用することが重要です。コンクリートには設計基準強度が定められており、100年耐久性を維持するには30N/mm2以上のコンクリートを使用することが必要です。</p> <p>②コンクリートかぶり厚を大きくする。 中性化は外側から進行してくるため、コンクリートの表面から内部の鉄筋までの厚さが薄いとすぐに鉄筋まで到達してしまいます。建築基準法で最低限の鉄筋までのコンクリートの厚さが定められていますが、100年以上使用するためには、基準の2倍程度のかぶり厚を確保すべきです。</p> <p>③コンクリートを直接屋外にさらさないようにする。 コンクリートは表面が空気や水、光にさらされることにより劣化し中性化が進行します。つまり中性化を防ぐためには、コンクリートの表面を断熱材や塗装で覆うことにより、空気や水を遮断することが重要です。ですので屋根や外壁がコンクリートむき出しの建物が最も中性化を進行させてしまうので絶対に避けなければなりません。最も推奨する方法は、コンクリートの屋根や外壁に断熱材を接着材で貼り付けその上から塗装する外断熱工法になります。この方法であれば、仮に外壁の塗装が劣化してもコンクリートは断熱材と密着しており空気や水と触れることはありませんので中性化が進行することはありません。</p> <p>上記の要素を取り入れることで耐久性の高い長寿命な躯体にすることが可能になります。</p> <p>躯体は一度建設してしまうと後で改修することが非常に困難ですので、多少初期費用が高額になったとしても建設時に実施しておく必要があります。短期間でみるとコストが増えたように見えますが、長期的な視野でみると100年以上使用できるのでコストが低減されているはずで、また事前に設計業者に上記仕様を要望しないと、設計業者はもっとも自分たちのコストが安くなる仕様にするので注意してください。</p> 2. メンテナンスコストを低減できる設計にすること 建物を長期間使用するためには、外壁の補修や設備の更新、リノベーションなどのメンテナンスコストを可能な限り抑えることが必要です。現庁舎も耐震補強や設備の更新などメンテナンスが行い易い構造であれば、建て替えずに改修して使用できたはずで、メンテナンスコストを抑えるために必要な要素を下記に列挙します。 <ol style="list-style-type: none"> ①スケルトンインフィル構造を採用する。 スケルトンインフィル構造とは、建物を躯体(柱や梁、床、天井などの鉄筋コンクリート構造部分)と建物の内装部分(内壁や内装、設備機器など)を完全に分離して設計することを言います。通常設備と躯体が一体となっている建物では、内装や設備の劣化によって大規模なリフォームが必要になってしまいます。しかしスケルトンインフィル構造では躯体部分と内装、設備部分が完全に分かれているため、躯体への影響を考慮せずに容易に、内装、設備のメンテナンスや更新、リノベーションを行うことが可能であり、メンテナンスコストを大幅に低減することができます。具体的には二重天井や二重床構造にして配管や機器を収納する方法が採用し、容易にアクセスできるようにします。 <p>長期間建物を使用する場合に非常にメリットのある構造であり、最近はオフィスビルやマンションなどで多く採用されています。</p> ②ダブルスキン構造や外断熱工法などを採用し耐久性の高い外壁にする。 躯体のメンテナンスで最もコストが発生するのが、外壁や屋根になります。通常の外壁や屋根であれば10年から20年に一度のスパンで防水工事が必要だと思います。そこで外壁にダブルスキン構造、屋根に外断熱工法を採用することで大幅にメンテナンスコストを削減することが可能になります。 <p>ダブルスキン構造とは、断熱性能のところで後述しますが、通常の躯体側の壁をガラスパネル(内壁)にして、さらに躯体の外側にガラスパネル(外壁)を設置して二重構造の壁にする設計を言います。この工法では躯体が外側の壁に完全に覆われるので直接屋外にさらされることがないので、躯体が非常に劣化しにくいのが特徴です。外壁のメンテナンスについても、構造用のガラスパネルは耐久性や耐候性、耐震性が非常に高いので、通常の防水メンテナンスを行う必要がなく、大幅にコストを削減することができます。</p> 	設計段階で詳細を検討する内容であり、ご意見については、今後の庁舎整備の参考とさせていただきます。

項目番号	該当頁	該当箇所	意見内容	市の考え方
72			<p>また屋根については、前述した外断熱工法を採用することにより、躯体のコンクリートの上に防水層、その上に断熱材を接着することにより、躯体や防水層が直接露出せず断熱材に保護されるので非常に劣化しにくくなり、メンテナンスコストを大幅に削減することが可能です。</p> <p>ダブルスキン構造や外断熱工法は、メンテナンスコストの削減だけでなく、建物の断熱性能の向上においても非常に効果的な工法であり、ZEBReadyを達成している建築では多く採用されています。</p> <p>最近の自治体の建築では、隈研吾氏に代表されるような外壁や屋根に木材を使用するようなものが多いですが、耐久性の無い木材を外壁や屋根に使用することはメンテナンスコストが増大するので絶対に避けるべきです。地元木材を使用したいなら躯体に関係のない内装で活用すべきで、屋根や外壁は必ず耐久性ある素材、工法を採用してください。</p> <p>3. 光熱費などランニングコストが低いこと。 光熱費は建物を使用する限り必ず発生するので、長期間建物を使用する場合、光熱費が高額だと長期的にコストが増大してしまいます。現庁舎も断熱性が皆無なので膨大な光熱費が発生することも建て替えの理由の一つではないでしょうか。 光熱費を抑えるために最も重要なことは、建物の断熱性を上げることです。また近年は建物の環境性能が大変重要視されており、大津市様でも新庁舎はZEBReadyの達成を前提されているので、そのために必要な要素について説明いたします。</p> <p>①ダブルスキン構造を採用する。 ダブルスキン構造は、前項で述べた通り、躯体側の壁とさらに躯体の外側にガラスパネルで壁を設置する二重構造の外壁になります。断熱性、遮音性、採光、エネルギー効率性に優れ、外側の壁が躯体を覆うことで保護されるなど耐久性にも優れた工法で、ZEBReadyの建物では必須と言って良いほど採用されています。</p> <p>具体的な構造としては、外壁と内壁の間に幅600mm～1,000mm程度の空間(中間層)がありその空気層が断熱の効果を発揮します。空気はガラスやコンクリート、木材などに比べて非常に断熱性が高いので、それだけで非常に優秀な断熱効果を発揮します。さらにこの工法では、中間層に下部に開閉可能な給気口、上部に排気口を設けることにより、夏は給気口と排気口を開き、暖められた中間層の空気が上昇し、上部の排気口から排気されることで、下部の給気口から外気を取り込まれ、中間層の空気が自動で換気されます。また中間層にブラインドを設置することで日射を遮蔽し、内部の温度上昇を防ぐことで冷房効率を高めることが可能です。また冬は、給気口と排気口を閉じブラインドを上げ、日射によって暖められた空気を保持することにより、内部を冷気から遮断し暖房効率を大幅に向上することができます。</p> <p>このように断熱性の向上、光熱費の抑制に非常にメリットのある工法であり、近年は自治体の建築でも積極的に採用されています。この工法は東西に長い建物(太陽高度が低く一番建物内に日射が入ってくるため)に一番効果を発揮しますので、是非新庁舎には採用して頂きたいと思えます。</p> <p>②外断熱工法を採用すること。 躯体の耐久性やメンテナンス性の項目でも説明しましたが、外断熱工法は断熱性の向上にも非常にメリットが大きい工法です。ここでは外壁はダブルスキン構造を推奨しておりますので、主に屋根の外断熱について述べます。</p> <p>外断熱工法は、躯体のコンクリートの上から断熱材で覆うため、コンクリートが直接日射で暖められることも冷気にさらされることもないので、建物が外気の影響を受けにくく、非常に冷暖房効率が高くなります。</p> <p>また屋上緑化とも非常に相性が良く、コンクリートや防水層が断熱材に保護されているので、緑化による樹木や土などの湿気の影響も受けづらくなっています。外断熱の屋根と屋上緑化を組み合わせることにより断熱性が向上することが可能です。</p> <p>建物断熱性の向上は、光熱費の削減だけでなく、建物で働く職員や来場者に快適な住環境を提供する意味でも非常に重要だと思えます。近年建設された自治体の庁舎でも、上述のような対策をせず、未だに2重ガラスのアルミサッシの窓を全面に採用し、日射遮蔽も考慮せず、夏暑く、冬寒いところがあるようです。</p> <p>コンクリートの内側に断熱材を施工し、アルミサッシの窓を多用し、ブラインドを室内に設けるだけのような建物は、どのような対策をしても必ず暑く、寒い建物になりますので、絶対に建てないようお願いします。</p> <p>まとめ 上記で説明した内容をまとめると、100年以上の長期間使用できる建物にするためには、高品質なコンクリートを使用すること、コンクリートのかぶり厚を大きくとること、スケルトン・インフィル構造を採用すること、ダブルスキン構造を採用すること、外断熱工法を採用することが必要だということです。どれも近年は一般的に普及している工法になりますので、設計会社に相談して頂ければ問題ないと思えます。どれもZEBReadyを達成するには必要なものだと思いますので、是非採用して頂き、100年以上使用できる快適な、環境にやさしい庁舎を建てて頂きますようお願いいたします。</p> <p>最後に参考になる資料について紹介します。ZEBIについては、一般社団法人環境共創イニシアチブが「ZEB設計ガイドライン」や国土交通省の「公共建築物におけるZEB事例研究」を参考にしてください。建物の長寿命化については「よくわかる！公共建築物の長寿命化(天神良久・秋山克己)」などを是非参考にしてください。</p>	市の考え方